

第2期中期計画において整備する病院施設、医療機器

	件名	概要	整備年度	金額 (税込、千円)
救命救急医療	救命救急センターの整備	○ICU基準を満たすための施設整備(バイオクリーンルームの確保、7室16床→7室12床) ○手狭となっている初療室の整備	H27	-
			H31	-
	総合診療・感染症科の建設	○臓器や診療科の特定が困難な症例への対応を目的とした「総合診療・感染症科」の開設 ○2次救急患者への迅速な対応を図るための処置室の整備	H27	-
			H29～	-
移動型デジタル式汎用X線透視装置の整備	○緊急時の限られたスペース内で、手術等の際に、ワンタッチで精密な画像が提供できる装置の整備	H31	-	
総合周産期母子医療	MFICU(母体・胎児集中治療室)の改修	○MFICU基準を満たす病室への整備(1床あたり15㎡以上の面積確保) ○患者の入院環境改善のための改修	H28	-
	産科診療録システムの導入	○産科領域で完全電子カルテ化を導入し、胎児心拍モニター、超音波画像などの情報を一元管理できるシステムの導入	H27	-
がん医療	手術用ロボット手術ユニット(ダヴィンチ)の整備	○人間を超える「目」や「手」の働きで、3次元画像を見ながら自由度の高い微細操作ができ、安全で確実な手術操作が可能となる機器の整備	H28	-
	全身用X線CT診断装置(320列)の整備	○検査の際のベッドの移動がなく、1秒未満で撮影でき、高画質画像により、小さな病変の早期発見が可能 ○造影CT検査で問題とされる小児などに対しても、低電圧撮影法により、画像を得ることが可能となる装置の整備	H30	-
その他	内視鏡用手術室の整備	○手術室で使用する電気メス、照明、観察モニター等の機器を一括してコントロールするシステムの整備	H27	-
	手術用ナビゲーションシステムの整備	○術野の位置情報を座標化し、術前に撮影した画像上に反映させ、術中の位置確認を行う画像支援システムの整備 ○より安全で的確な手術操作が可能	H30	-
	病院施設の改修	○病院内の電気・空調換気設備・給排水衛生設備・防災系設備の修繕 他	H27～H31	-
	リニアック施設整備	○第1期計画期間中に予定していた放射線設備に係る器械・施設の整備(繰越事業)	H27～H28	-
	ドクヘリ無線の更新	○平成28年5月からの消防救急無線のデジタル化に伴うドクヘリ無線設備の更新	H27	-
	器械備品の更新・新設	○一般器械備品の更新等整備	H27～H31	-
	電子カルテシステム等の更新	○電子カルテシステム等の更新等整備	H30～H31	-
車両の更新	○病院車両(DMATカー等)の更新等整備	H27～H30	-	
	合計			9,873,766